

令和7年度

一般選抜（I期）問題

試験日 2月1日

国語

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
- ③ 受験票、筆記用具以外は、机の上に置かないこと。
- ④ 受験票は机の上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は1字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。



〔一〕 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

東京のある飲み屋の主人は、若いころけっこう浮気をしたらしく、怒り狂った奥さんが、神社に参って浮気封じの呪法をかけたところ、なんとその効果があらわれ、片足が壊疽<sup>えそ</sup>みたいな状態になってしまったという。奥さんは、御主人の履き物や靴下の類いを神木に釘で打ちつけて、呪いをかけたというのである。

この話を聞いて、私はとても興味を覚えた。この浮気封じの呪法は、いわゆる「丑の時参り」のバリエーションと思われたからである。そこで私は、呪いに興味をもっている友人の写真家・内藤正敏さんを誘って、呪い空間を求めて旅に出ることにした。そして、私たちはそこで、さまざまな呪い<sup>(a)</sup>シヨウコウゲンと出会ったのである。

まず、初日の宿泊先となった京都・北山の貴船神社では、恋敵が病気に倒れ、目当ての女性が自分に抱かれるように、という内容が記された絵馬を発見した。貴船神社は、『X』<sup>(1)</sup>にも語られるように、平安時代のむかしから呪いを引き受けてくれることでよく知られた神社である。しのつく雨のなか、それも夜半に、こうした歴史的背景をもつ貴船神社のうっそうとした境内を訪れるのは、正直いってあまり気持ちのいいものではなかった。しかし、ここが私たちの呪いをめぐる<sup>(b)</sup>シサクの旅の出发点として、もっともふさわしいと考えたのであった。そして予想にたがわず、ここにはいままなお呪い信仰が息づいていたのであった。

その翌日、私たちは、飲み屋の主人が呪いをかけられた神社に行くことにした。その名を千代保<sup>ちよほ</sup>稲荷神社（岐阜県海津市平田町）という。どうせ行くなら丑の時（午前一時）にしようということになった。

訪れた神社の第一印象は、私たちの期待感（恐怖心）を裏切るものであった。夜中だというのに境内は照明がこうこうと輝き、ホステスと酔客とおぼしきカップルが、何組もお参りにきているではないか。あとで聞いたところによると、この神社は水商売の商売<sup>(c)</sup>ハンジヨウに御利益があり、わざわざ名古屋あたりからタクシーを飛ばしてくる人もい

るといふ。参詣した証しとするのだろう、境内にはホステスの源氏名を記したおびただしい数の名刺が、絵馬とともに奉納されていた。

境内を歩き回っているうちに、へんな空間をみつけた。御神木とおぼしき大木が、塀のようなものでぐるりとまわりを取りまかれていたのである。なかをのぞくことはできない。施錠されていなかったので扉を開けてみた。途端に私たちの目の前に異様な光景が現出した。ひとかかえもあろうかと思われる大木の一面に、さまざまなものが釘で打ち込まれていたのだ。靴、下駄、サンダル、スリッパ、靴下、パンティ・ストッキング、写真、人の形を描いた半紙、そしてワラ人形。

もちろん、なかには面白半分に打ち付けられたと思われる人形のたぐいもあった。しかし、釘を打ち込まれた四枚組の写真には、とても面白半分でやったとは思えない鬼気迫る雰囲気か漂っていた。顔・胸・下腹部に五寸釘を打ち込まれた水着姿のスナップ写真の下には、同じ女性の結納式・結婚式・披露宴での写真があり、顔の部分にはマジック・インクで×印が描かれていた。これは推測するに、いわゆる三角関係に敗れた女性が、恋敵を不幸にするために呪ったものだろう。それも、わざわざ結婚式や披露宴に出席したうえでのことのようにであった。よほど身近な人なのだろう。

薄っぺらな板で囲われた、人ひとりがやっとはいれる一坪弱のこの空間には、私たちに有無をいわせぬ「何か」が充溢していた。私は、撮影に未練を残す内藤さんをせきたてるようにしてタクシーへ乗り込んだ。正直ホツとした気持ちであった。

(3) 走りはじめてしばらくたつてから気がつく、日頃は冷静沈着なはずの内藤さんのコートのポケットのなかで、消し忘れた懐中電灯がボーツと輝いていた。

人には多かれ少なかれ、誰かを恨んだり、妬ねたんだり、はたまた呪いたくなる心性がある。「あいつがいなくなれば(死ねば)、自分の成績の順位(会社の地位)が上がる」と思ったり、人の足を引っ張ってでも出世しようとする同僚や、ことあるごとにいじめる同級生に対して「不幸になればいい」などと思ったりすることは、現代の複雑な人間関係にあっ

てはさして珍しいことではないだろう。これは、「怨念」と呼んでもいいものである。ここでは、こうした人間の心性を「呪い心」と呼ぶことにする。

さらに、「呪い」にはもうひとつの側面がある。すなわち、こうした「呪い心」に導かれて、誰かに危害を加えるために、実際に呪文を唱えたり、道具を使ったりなどといったシンピ的な方法に訴えかけることだ。これを「呪いのパフォーマンス」と呼ぶことにしよう。つまり、「呪い」は、「呪い心」と「呪いのパフォーマンス」とがセットになってでき上がっているのである。

しかし、いくら私が「呪い」についてこう定義したところで、現代人の多くは表面的には「呪い」など信じないふりをして、まぎれもない事実だろう。ことさらに呪いがどうしたこうしたなどいいだしたら、科学的理解の方法を万能とする、私たちの社会の共同幻想からイツダツしたへんな奴だと思われてしまうにちがいない。

現在では、神社でワラ人形や写真に釘を打ち込んでいるところを警官に発見されたとしても、法律的には処罰されないことになっている。たとえ呪われたほうに「障害」や「災厄」が生じたとしても、両者のあいだに科学的な因果関係を立証できないからである。

とはいっても、人びとの精神の奥底からすつかり「呪い心」がなくなったわけではない。胸に手を当ててみれば、さきほどの例のようなことは、誰しも思い当たるのではなからうか。呪いなどは非科学的で迷信にすぎないと思ういっぽうで、「もしかしたら」という気持ちもまた否定できないはずである。人間の心性までもが「科学的」になったわけではないのである。

では、「呪いのパフォーマンス」はどうだろうか。

右に紹介した私たちの旅は、「呪い」との遭遇のための旅であった。しかし、現代の呪いの例は、古い時代の「呪い」の残存といったものだけではない。<sup>(4)</sup> 私のみるところでは、どうやら現代人は、一度は忘れようとした「呪いのパフォーマンス

「マンス」を回復させつつあるようなのだ。

現代の日本人が公然と行なっている呪いをいくつかあげてみよう。たとえば、私が呪いに関する資料を集め始めたころ、「朝日新聞」（大阪版）の夕刊第一面に、奇妙な写真が掲載されていた。新聞の説明によると、この天地を逆にしたどくろの旗は、マンション住民がとなりに建築中の某電機メーカーの工場に日照権を奪われたことに抗議の気持ちをおこしたために掲げたものだという。工場の建築自体は合法のため、法的には争うことができない。そこで、行き場のない恨みの念が噴出して、この逆立ちしたどくろの旗の林立へと至ったのだ。これはまさしく、マンション住民の電機メーカーへの「呪い心」が生み出した、「呪いのパフォーマンス」といえるものである。

いうまでもなく、どくろは「死」の象徴である。しかも日本にはどくろを用いるさまざまな呪詛法がむかしから存在していたのだ。また、旗の天地を逆にすることは、住民が意識していたかどうかは別に、これまた日本の伝統的呪法のひとつで、現在の好ましくならぬ事態を呪術によって逆転させる、という意味が託されているのである。

右にあげた例は、現実の世界での「呪いのパフォーマンス」である。おそらく、こうした時代状況を反映してであろう、近年、さまざまなメディアのなかに「呪い」もしくはそれに類する事柄が堂々と登場するようになった。ホラー映画や伝奇小説では、「呪い」は物語を構成する重要なモチーフにさえなっている。

（小松和彦『呪いと日本人』による）

問1 傍線部(a)～(e)の片仮名を漢字に直しなさい。

問2 本文中の空欄〔X〕に当てはまる作品名で、藤原道長の権勢を描く平安時代の歴史物語として最も適切なものを次のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本霊異記
  - イ 枕草子
  - ウ 源氏物語
  - エ 栄華物語
  - オ 今昔物語集
- カ 平家物語

問3 傍線部(1)「しのつく雨」の類義語として最も適当なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 土砂降り
- イ 恵みの雨
- ウ 涙雨
- エ 長雨
- オ 遺らずの雨

問4 傍線部(2)「何か」を具体的に言い換えた言葉を本文中から三字で抜き出して答えなさい。

問5 傍線部(3)とあるが、ここからは私と内藤さんのどのような心情が読み取れるか。三十五字以内で答えなさい。

問6 傍線部(4)について、現代人が「呪いのパフォーマンス」を「一度は忘れようとした」のはなぜか。本文中の言葉を用いて、三十字以内で答えなさい。

問7 本文の内容として正しくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 貴船神社は古来から現代まで呪い信仰が残る場所であり、だからこそ筆者はここを旅の出発点にふさわしいと考えた。

イ 千代保稲荷神社の境内が夜中でも明るく賑やかだったことに対し、筆者と内藤さんは肩透かしを食らった気分になった。

ウ 現代人は呪いを信じないふりをしつつ内心では呪いの存在を確信しており、その矛盾が「呪いのパフォーマンス」にあらわれている。

エ マンション住民が掲げた天地逆のどくろの旗からは、現代人が「呪い心」を失っていない様子を見ることができるとする。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

人間はひたすら健康であることを願ひ、病気になるれば早く治して欲しいと望む。そこにつけ込んでいつの時代でも根拠が曖昧なまま、科学的健康法とか科学療法とかが流行した。十九世紀に流行ったのがメスメリズムと呼ばれた磁気療法で、磁場を浴びれば健康に良いと宣伝し大人気になった。よく調べてみると、磁気効果より催眠療法的な要素が強かったらしい。科学的に厳密な証明がないにもかかわらず、科学の用語を使用することでいかにも効能があると見せかける商売は今でも盛んである。

例えば、よく使われたのがマイナスイオンで、大企業の電気商品（エアコン、掃除機など）においてその効能が強調された。滝の水にマイナスイオンが発生しているというイメージで健康感を植え付け、それを自宅でも手軽に浴びられると宣伝したのである。プラスの電荷を持つ悪者の活性酸素をマイナスイオンで中和することができるという印象を利用したとも言える。実際には、各社ともマイナスイオン効果を厳密に実証しておらず、根拠は至って薄弱であった。マイナスイオンという言葉が客の気を惹きつけられることに目を付けて、こぞって売り出したのが真相だろう。事実、マイナスイオン効果はあっても微々たるものでしかなく、本質的に意味がないことが判明している。そのことが科学者たちによって明らかにされるにつれマイナスイオンを謳った商品は減少してきたようだ。科学者が疑似科学退治に少しは役立った数少ない例である。

今隆盛なのが健康に良いとする食品の類で、私たちは一口に健康食品と呼んでいるが、「特定保健用食品（略称トクホ）」「栄養機能食品」「健康食品」「栄養補助食品（いわゆるサプリメント）」の四種類もあり、それぞれ違った規定がなされている。

「特定保健用食品」は、「その摂取により当該保健の目的が期待できる旨の表示をする食品」で、個別の製品ごとに申

請し厚生労働省の許可を得ることが義務づけられている（個別許可型）。かなり許可を得るのがむつかしいらしい。一方、「栄養機能食品」は、ビタミン類十二種類・ミネラル類五種類のうち、一種類以上を上限値以下・下限値以上含有していれば許可を得ずに表示できる（規格規準型）。栄養分が補給されることを売りにしているのだが、果たして誰にでも効能があるかどうかはわからない。

「健康食品」は、ある種の薬効成分を含有することを売り物としているが、それに効果・効能があると謳ってはいけないことになっている。民間の日本健康・栄養食品協会が審査をして、衛生状態が基準に合格したことを認めたものについて表示許可をしているに過ぎず、健康に及ぼす効果・効能を認めているわけではないのだ。直接効能を書いてはいけないことになっているから、効能がありげな表示で気を惹こうとしている。「栄養補助食品」は、健康食品のうちカプセル・錠剤・粉末などの医薬品の形態を指すことが多いが、明確な決まりがあるわけではない。

A、消費者はこの四種類の食品を区別しているであろうか。何やら難しい成分表示がなされ、それもカタカナのものが多く、意味がよくわからない。しかし、それがいかにも効能があるかのように思わせる効果を持っている。「健康食品」は医薬品ではないから動物実験や人間を使った治験をしなくてもよい。そのため、果たして本当に効能があるかどうか不明である。（効能を宣伝してはいけないのだが、暗示的に表現することが実に巧みである。）初めはプラシーボ効果によって効き目があるように思うが、やがて効かなくなり、どんどん摂取量を増やしてかえって病気になるってしまった例もある。ダイエット食品も同類で、栄養不足や栄養の偏りのため体壊した人も出ている。

化学物質は、それがはたらく体内環境や他の物質との相互作用などによって、単独で取り出したものとは違ったはたらきをするのが常である。また、人間は多様だから、ある人に効いたからといって自分にも同じ効き目があるとは限らない。体質や生活習慣などの違いによって効能も違ってくるのだ。本当に万人に効果がある健康食品はないと思うべきだろう。また、当初は効いても効果が持続せず、また元通りになってしまう場合もある。（ダイエット食品にその傾向

が強く、リバウンドしてかえって太ってしまうケースが多く見られる。)

すべての健康食品が無意味だと言うわけではない。[B]、そんなものに頼らず、普段の食事に気を遣う方がよほど健康的であると言いたいのだ。手っ取り早く健康を手に入れようとするのはかえって危険なのである。ましてやダイエット食品は(納豆騒動があったように)<sup>(2)</sup> 大げさな宣伝が多い。手軽に痩せられるのならメタボリックシンドロームは起こらないはずである。「ダイエットに王道なし」なのだ。一足飛びに健康やダイエットを手に入れようすると疑似科学の餌食<sup>(e)</sup>になる危険性があることに注意しよう。

抗ガン薬として正式に認可されていないが、新聞などで盛んに宣伝されているものがある。例えばキノコから取ったというアガリクスで、動物実験では効き目はあるが、人間では効能が確認されていないため認可されていない。もはや切除手術ができない末期ガンになると、人は何にでも<sup>すが</sup>縋りたくなる。そのためによく売れているのだろう、大新聞にかなりのスペースで宣伝している。(あの広告料だけでもバカにならないだろうと思ってしまう。)少しでも安心(というより、不安の軽減あるいは死の恐怖からの逃避)を買おうとしているのだからとやかくは言うつもりはない。<sup>(3)</sup>疑似科学の「効用」と言うべきなのかもしれない。(逆に病人の弱みにつけ込んだ商売と言えなくもないのだが。)

このように、科学的根拠が薄弱なまま世の中に出回ってビジネスとなつていくものが多い。それらにはまともなものも疑似科学のものも混じっており、すべてが怪しいと言うわけではない。しかし、言葉の装いだけに飛びつくと疑似科学の罠に嵌<sup>はま</sup>ってしまう。<sup>(4)</sup> 一般に、これらは必需品(それがなければやっていけないもの)ではなく、余得を利用しようとするもので、消費者の欲望につけ込むことが目当てなのである。それだけに過大に効能を宣伝する傾向があり、疑似科学的要素が強くなるのだ。

(池内了『疑似科学入門』による)

問1 傍線部(a)～(e)の漢字の読みを平仮名に直しなさい。

問2 空欄[A]・[B]に当てはまる言葉を、次のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ言葉は二度使えないものとする。

ア しかし      イ ます      ウ だから      エ さて      オ よって

問3 傍線部(1)「健康に良いとする食品の類」について、本文で述べられている内容と合っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「栄養補助食品」は、カプセル・錠剤などの医薬品の形態のものを指す。

イ 「特定保健用食品」は、厚生労働省に認められているため、万人に効果がある。

ウ 「栄養機能食品」に含まれる栄養分は、必ずしも健康に効果があるとは限らない。

エ 「健康食品」の効能は、日本健康・栄養食品協会によって認められている。

問4 傍線部(2)「大げさな」の類義語を、本文中より抜き出して答えなさい。

問5 傍線部(3)「疑似科学の『効用』」とあるが、ここで述べられている「効用」とは何か。本文の内容に基づいて、三十字以内で答えなさい。

問6 傍線部(4)「消費者の欲望」とあるが、具体的にはどのようなことか。解答欄の形式に合うよう、本文中から三十字以内で抜き出して答えなさい。

以下余白